

# 激動する朝鮮半島と 東アジアの情勢について

今回、講師をお願いする武貞秀士氏は、テレビのコメンテーターとしても登場する朝鮮半島問題の専門家です。「いまこそ、我々は日朝国交正常化を目指して北朝鮮との対話に踏み切り、主体的な外交を展開することによって自らの安全を確保するときではないでしょうか」という氏の一貫した主張は、朝鮮半島をめぐる対決から対話への歴史的転換の中で改めて注目を集めています。

日時：11月24日（土）午後2時～4時  
会場：日野市 生活・保健センター講座室（2階）  
講師：武貞秀士さん（拓殖大学大学院国際協力学研究科特任教授）



1949年生まれ。慶応義塾大学法学部卒業、同大学院博士課程修了。防衛省の防衛研修所（現防衛研究所）に入所、東アジア、なかでも朝鮮半島問題を研究する。在職中に韓国の延世大学へ留学し、その後米スタンフォード大学、ジョージワシントン大学に客員研究員として滞在。統括研究官などを経て2011年退職。11～13年、延世大学国際学部にて日本人初の専任教授に。著書に『東アジア動乱 地政学が明かす日本の役割』（角川 one テーマ 21）、『金正恩の北朝鮮 独裁の深層』（角川 one テーマ 21）等。

参加費：500円

お問合せ：日野・市民自治研究所

日野市日野本町 3-13-16 TEL&FAX:042-589-2106

